

# 羽ばたけ!! 全国の舞台 インターハイに臨む 庄内の若人たち

## 上位入賞目指し決意も新た

インターハイ「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」が7月24日、バスケットボール(新潟県長岡市)を皮切りに開幕する。会場は福井、新潟、富山、石川、長野、和歌山の各県で、庄内の各高校からはアーチエリ、レスリング、ボート、剣道、弓道などに出場。選手たちは上位入賞を目指し、調整を積んでいる。「高校生夏のスポーツの祭典」に臨む庄内の各選手をピックアップした。

## 輝け君の汗と涙 北信越総体2021

- 【アーチェリー】  
8月20日(男子)と21日(女子)  
福井県鯖江市  
市東公園陸上競技場  
市総合体育館
- 【レスリング】  
8月21日～24日  
福井県あおい町  
町総合運動公園体育館
- 【ボート】  
8月15日～19日  
福井県美浜市  
県立久々子湖漕艇場
- 【剣道】  
8月9日～12日  
石川県金沢市  
いしかわ総合スポーツセンター
- 【弓道】  
7月29日～8月1日  
新潟県上越市  
県立武道館



## 酒田東高校

### 最終日の準決勝向け一丸 心を合わせオールこぐボート部



最終日の準決勝を目標に心を合わせる男女メンバー



京田川での練習に汗を流す男子(上)と女子



チームは男子6人、女子8人の計14人。大会に向け

8月の予選4組に臨む。

「ボートは呼吸を合わせる」ことが大切。体力が切れる中盤以降の精神力が勝敗を左右すると顧問の池田徳教諭。埼玉県立越ヶ谷高校、東京都立小松川高校、横浜市立横浜商業高校など強豪校がひしめく中、決勝レース出場枠を懸けてレースに臨む。

悪天候にならない限り放課後、酒田市宮野浦の京田川での練習に汗を流す部員の目標は最終日の準決勝だ。

仲間感謝し挑戦

菅原 敬宏主将 (酒田三中出身)



ボートは高校から始めた。実力だけなら人間として大きく成長する時間を過ごせた。心が折れた時に励ましてくれた仲間感謝。最後の大会なので最終日の準決勝を目標に心を合わせてこき切りたい。